

国際看護研究会 NEWSLETTER No. 33

Japanese Society for International Nursing

2004. 4. 26 発行

新年度が始まりましたがいかがでしたでしょうか。本年度も会員の皆様にご協力をいただきながら、運営をしていきたいと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

本号の内容は以下のとおりです。

I. 運営委員会報告	p. 1
II. 第7回学術集会準備委員会報告	p. 1
III. 第32回国際看護研究会報告	p. 1
IV. 第33回国際看護研究会のお知らせ	p. 5
V. 国際看護研究会第7回学術集会のご案内	p. 5
VI. 皆様へのお願い・お知らせ（事務局より）	p. 6

※本文に記載されている振込先やメールアドレスについては、現在は使われておりませんのでご注意ください。

I. 運営委員会報告

第33回および第34回運営委員会は、3月6日（土）および4月17日（土）にそれぞれ開催された。2003年度決算、2004年度予算、2004年度活動計画、新しい運営委員の選出方法等について話し合った。2004年度スタディツアーについては、ネパールが候補にあがっているが、実施のためには現地の受け入れ体制、治安状況等についてさらに確認が必要であり、情報を得て検討することとした。

訂正とお詫び：

前回 NEWSLETTER No.32 に第27回および第28回運営委員会として報告を掲載しましたが、それぞれ第31回および第32回の誤りでした。ここにお詫びするとともに、訂正致します。

II. 第7回学術集会準備委員会報告

4月3日（土）に第2回準備委員会を開催し、広報活動、企画等準備状況について各担当者が報告した。さらに当日の実行委員を選出し、演題募集要項を会員・研究会関係者および看護系大学・短大宛の発送作業も行なった。

III. 第32回国際看護研究会報告

第32回国際看護研究会は、「国際看護協力における看護管理の重要性」をテーマに、戸塚規子氏（静岡県立静岡がんセンター副院長）に講演をいただきました。

< 講演 >

国際看護協力における看護管理の重要性

戸塚 規子（静岡県立静岡がんセンター副院長）

国際看護研究会が、看護管理を講演会のテーマにするのは初めてであるが、国際看護協力の実践には、管理の能力が必要であり、活動内容はそうした要素が強いと言われて久しい。今回、看護管理とは何かについて、あらためて考える機会を持つことに意味を感じてお引き受けした。紙面の制約から看護管理、PDCA サイクルに関する部分を抜粋掲載する。

青年海外協力隊の要請内容にみる看護管理的要素

2003 年度秋募集の看護師隊員の要請は 29 件あり、うち 15 件が病院活動であった。スライド 1 に示す内容は、その派遣要請側から送られてきた受入希望調査表の、「期待される業務内容」の数行のなかから、いわゆる看護管理の概念に関連する言葉を抜き出したものである。内容は看護業務実践指導、看護業務・システムの改善、指導・教育に大別され、15 件の要請のうちで、看護管理の要素が含まれないものは皆無であった。こうした要請内容でも現実には、まずはマンパワーとしての活動から始まることは周知のとおりである。看護の質の向上や指導に協力するはずがなぜマンパワーなのかと、しばしば論議になるところであるが、指導も改善も、そこで何が行われ、どんな看護師役割が遂行されているかを知って、隊員自身もそれを実践しなければ何もスタートしない。マンパワーになってはじめて現地のスタッフになりきることができ、人間関係ができて、お互いに話ができるようになる。その上で、ここに挙げたような活動が始まるのである。とは言え、単なるマンパワーではなく、これらの要請内容のオブザベーションを前提としていることは言うまでもない。最初から指導しよう、ここが悪いあそこが汚いと指摘し始めると、そこで人間関係がぶつ切り切れ、コミュニケーションが成立しなくなる。まずは実践し、そのなかで管理の視点を自分の意識に置きながら、残された 1 年数ヶ月の活動を組み立てていくのが通常の隊員活動である。新規派遣の場合には、オブザベーションとマンパワーで 2 年間で終わってしまうことも少なくない。国際協力の個の活動は点であり、その点が重なって線になり、面になっていく。そこには日本からの派遣活動だけでなく、当然現地の人たちが入ってこなければ協力は成り立たず、継続・持続しないことは言うまでもない。これも管理のプロセスである。

看護管理とは何か

看護管理の淵源は F. ナイチンゲールにある。ナイチンゲールは、1859 年の著述『看護覚え書』のなかで、すでに「そこにいるとき自分がすることを、そこにはいないときにも行なわれるようにすること」が管理だと述べている（スライド 2）。このように 150 年余りも前からナイチンゲールによって、「看護管理」は良い看護を行うために不可欠であると言わ

れてきた。その後 100 年たって、近代的看護管理の概念の構築と普及事業が WHO によって行われている。WHO の看護専門委員会が看護管理業務の改善や勧告を行い、それを実現する試みとして 1957 年に『Principles of Administration Applied to Nursing=看護管理の原則』を出版し、世界各国で活用することを推奨し、世界各国で教本として活用されて成果をあげた。この試みによって看護管理は、世界共通の課題として認識されるとともに、普遍的な概念が多く国々へ広まった。更に、1961 年には西太平洋地区看護管理ゼミナールを開催し、看護管理の課題が討議されて『WHO 看護管理ゼミナール記録』がまとめられ、この 2 冊が近代的看護管理の手引きとなったといわれる。看護管理は、このような経過を経て成文化、明確化された。スライド 3 のように、WHO の定義では、看護管理とは、そこにある資源の有効活用の過程であるとされる。

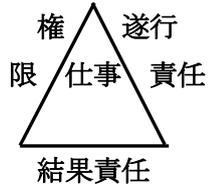
看護管理のプロセス

看護管理のプロセスは、看護を実践する時に行う看護過程の段階であるアセスメント、計画立案、実践、評価と基本的に同じであり、計画 (Plan)、実施 (Do)、評価 (Check) 対応 (Action) という Management Cycle (PDCA サイクル) で表わすことができる (スライド 4)。管理者が仕事を円滑にすすめていくためには、Management Cycle すなわち看護管理のプロセスをきちんと意識的に踏んでいくことが重要である。

構成要素をプロセスに沿って簡単に説明すると、**計画 (Plan)** は、目標・方針の設定であり、現在の全体状況がどうなっているかデータの収集と分析をし、アセスメントすることが求められる。病院の地域での役割、周辺の医療圏、疾病統計、人口構成などがデータとなり、患者と看護職員に関しては、患者の数・看護の度合と業務量、看護職員の量と質、看護料金や人件費などである。その上で目標・方針を立て、規定や方法を開発し、予算化する。これらはその組織の目的を達成するためであるから、前提には病院であれば理念と基本方針があり、国際協力でいえば成果 (アウトカム) の設定がある。目標の要件は、「だれが」「何を」「いつまでに」「どれだけのことを」が明確でなければならない。計画案は、管理の目的 (資源の効率的活用) を前提として、1 つでなく 3 案くらい作り、できるだけ長所が多く短所の少ない案を選ぶ。計画内容の充実度は 5W2H でチェックし、When (時間、いつ)、Where (場所、どこで)、Who (担当者、誰が) What (仕事、何を)、Why (目的・理由、なぜ)、How/How to (方法、どのように)、How much (費用・予算) の 7 項目が盛り込まれているかの確認が大切である。

実施 (Do) には組織化が必要であり、組織は人々の努力を結び付けることを目的とする。組織化の原則のいくつかを述べると、ライン組織、組織図の単純化、スパンコントロール、権限と責任の原則などが挙げられる。組織で仕事をしていく時は、指示を一元化することによって部下への業務実施の流れが速やかになる (ライン組織)。組織図は、可能な限り構成員の関係が理解しやすいように単純化しなければならない (組織図の単純化)。スパンコントロールとは、一般に 1 人のリーダーが把握できるスタッフは 6-7 人、1 人の管理者 (看護師長など) の管理下にある人数は 20 人程度の場合がもっとも効率的な管理が可能であるという原則である。組織は、各職位の権限と責任を明確にしておかなければならない。仕

事には図のように、遂行責任、権限、結果責任（義務：例えば実施報告）の3つの側面があり、この3つのバランスの偏り（上司が権限を委譲せずに部下に遂行責任のみ押しつける）がないようにすることが重要である、という3面等価の原則がある。また、管理者の職務モデル（職務分掌）は権限と責任の所在、指令の系統を明確にする。



実施 (Do) にはさらにスタッフの育成が含まれる。育成とは上司が部下に仕事を割り当て、その仕事を部下が実行するようにしむけることであり、スタッフを動機づけ、専門性の向上や自己の成長への支援を行い、自ら自分のやるべき仕事を実行するようにしむけることである。それには組織における上司のリーダーシップが最も重要である。

評価 (Check) と対応 (Action) は、仕事が計画どおり行われているかを検討（分析、問題の発見）し、スムーズな進行に必要な処置をとり（調整）、その結果を次に生かす（フィードバック）ために努力する過程である。以上がPDCAサイクルの概略である。

スライド5は、医療機能評価機構の岩崎栄氏が病院長の資質として挙げたものであるが、PDCAサイクルを行為としてみた場合には、おそらくこのように表現されるであろう。また、スライド6は岩崎氏のいう病院のトップマネジメントの条件の、部下という文字を現地スタッフに換えるものであるが、これはそのまま国際看護協力の看護管理実践の要件として言い換えられるのではないだろうか。

1 JOCV隊員に期待される業務内容
(2003秋募集15病院の受入希望調査表より抜粋)

JOCV隊員に期待される業務内容(看護管理関連)		
管理業務実践・指導	看護業務・システムの改善	看護指導・教育
衛生管理、器具管理の助言	院内看護業務の見直し	看護技術指導
病棟管理指導	院内看護業務の見直し	看護に関する技術指導
病室管理	看護システムの見直し、構築	勉強会の実施
安全管理	新しい看護システムの導入	基本的看護技術指導
	看護業務マニュアル作成支援	看護師の技術向上
	看護業務の質向上と効率化	勉強会の実施
	看護業務の質の向上	看護意識向上
	看護業務作業手順の標準化	院内教育の支援
	看護77の現状分析、改善計画	看護学生の指導
	看護サービスの質の向上	看護指導
	看護サービスの改善	院内衛生・感染予防教育
	看護サービスの向上	基本的看護技術指導
		衛生管理のあり方指導

2 F. ナイチンゲール
小管理= petty management

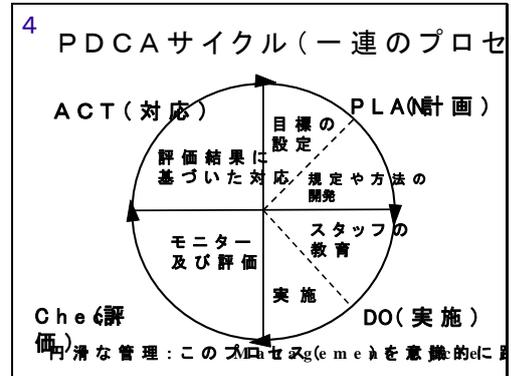
この覚え書に詳しく述べるような良い看護がもたらすどの結果も、ひとつのこと、つまり小管理が欠けていたら、換言すれば、あなたがそこにいないときあなたがすることを、あなたがそこにいないときにも行われるように管理する方法を知らないならば、すべてが台無しになったり、すっかり逆になったりしてしまうのである。

ナイチンゲール著作集第1巻(1976)191 看護覚え書 3.小管理

3 看護管理とは
WHO西太平洋看護管理セミナーの定義 1961

■ **看護管理とは、**看護師の潜在能力や関連分野の職員および補助的職員、あるいは設備や環境、社会の活動等を用いて、人間の健康向上のために、これらを系統的に活用する過程である。

そこにある資源の有効活用の過程



5

マネジメントとは

- 明確な目標の設定をする
- 戦略の起案と実行に忠実である
- 計画と予算の統合をする
- コスト削減、経費節約に注力する
- 計画的に人を育てる
- 生産性を確実に維持する
- 実行と評価・反省のプロセスを守る
- 経営資源を守る事ができる
- マニュアル化を勧め、定石を多用する

岩崎栄 求められる病院長の資質 日本病院会雑誌 2004.2より

6

国際看護協力における看護管理実践

- 現地スタッフを大切にする
- 改善・改革に意欲的である
- 誰とでも会話できる
- どこにでも出かけていく
- 現地スタッフに耳をかす
- 現地スタッフを叱ることも、誉めること
- 健康で、常に学習し、知識がある
- いつも、笑顔でいる

(岩崎栄院長の資質 日本病院会雑誌の条件)

IV. 第33回国際看護研究会のお知らせ

今回の国際看護研究会は、以下の通りに開催されます。皆様奮ってご参加ください。

日 時：2004年6月19日（土） 13:00～15:00

会 場：独立行政法人国際協力機構青年海外協力隊事務局広尾訓練研修センター
東京都渋谷区広尾 4-2-24 TEL：03-3400-7717

<講演1>

テ ー マ：「イラン、バム大地震後の中期における救援活動

～診療活動の現地への移管プロセス～」

講 師：高岸壽美 氏（日本赤十字社和歌山医療センター看護部 看護副部長）

<講演2>

テ ー マ：「イラン、バム大地震後の中期における救援活動

～被災看護師に対する支援の重要性～」

講 師：小原真理子 氏（日本赤十字武蔵野短期大学災害救護系 教授）

V. 国際看護研究会第7回学術集会のご案内

会員の皆様のお手元には、既に学術集会の案内状が届いている事と思いますが、「途上国での公衆衛生対策協力に関わる看護職の可能性」をテーマに以下のとおりに開催いたします。多くの皆様のご発表、ご参加をお待ちしております。

期日：2004年9月11日（土） 9:30～17:00

会場：独立行政法人国際協力機構青年海外協力隊事務局広尾訓練研修センター
東京都渋谷区広尾 4-2-24 TEL：03-3400-7717

プログラム：基調講演 学術集会会長 山田智恵里（弘前大学医学部保健学科教授）

ワークショップ

一般演題（口演）

参加費：会員 2,000 円（学生 1,000 円）

非会員 3,000 円（学生 1,500 円） 参加費には抄録代が含まれています。

弁当代 1,000 円（必要な方のみ）

参加申し込み：口座番号 00260-1-29431 口座名称：国際看護研究会第7回学術集会
8月10日（火）までに参加費および必要な方は弁当代を郵便振替にて上記口座までお振込みください。研究会の年会費振込先とは異なりますのでご注意ください。

演題募集要領：テーマは国際看護に関する研究、または実践報告とします。申し込み締め切りは7月16日（金）必着です。詳しくは下記までお問い合わせください。

問い合わせ先：〒036-8564 青森県弘前市本町 66-1

弘前大学医学部保健学科 山田智恵里

問い合わせは E-Mail または Fax でお願いいたします。

V. 皆様へのお願い・お知らせ（事務局より）

1. 本研究会は会員の皆様からお振り込み頂く年会費（2千円）により運営されています。同封の振込用紙により、2004年度の会費納入をお願い致します。納入状況については、封筒宛名の名前の後ろに会員番号と（ ）内に最終支払い年度が記されています。お振り込みになっているにもかかわらず、この記載と一致しない方はお手数ですが事務局にご連絡下さい。
2. 転居された方は研究会事務局に新住所をご連絡下さい。
3. NEWSLETTER の「海外情報」に掲載する記事を募集しております。会員の皆様の活動報告、活動国の様子、医療事情あるいは旅行記など海外に関する情報をお待ちしております。事務局までお送り下さい。
4. 会員の皆様からのご意見を反映して研究会の活動のさらなる改善を図りたいと思います。講演会のテーマ、NEWSLETTER についてなど本研究会へのご意見をお聞かせ下さい。
5. 第6回学術集会抄録の残部があります。ご希望の方はその旨を明記の上、抄録代として500円分の切手（80円までの小額切手）と返送先を書いて210円分の切手を貼ったA4サイズの返信用封筒を事務局までお送りください。

編集後記：

慌しい新年度が始まってから、あっという間にゴールデンウィークが目前となりました。イラクでの日本人拉致では国際協力において個人の責任のあり方について改めて考えさせられました。（竹）

イラクの人質事件は、大きなニュースになると共に、国際協力に携わる者はどのような立場であれ、政治と無関係ではいられないことを改めて示した。賛成するのも反対するのも政治的であれば、黙って無関心を決め込むのも政治的である。それを忘れないでいたい（柳）

アジア地域で昨年大猛威を振るった感染症がある地域で発生したとの報道があった。その発生により、個人の生活に影響を及ぼすにとどまらず国レベルでも人の交流、経済活動に甚大な影響を及ぼしたのは記憶に新しい。過去の経験を生かし拡大が未然に防げることを願う。(田)

ニュースレターの記事に関して無断転載を禁じます。
皆様のご理解をお願いいたします。